

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年5月24日

埼玉県知事
大野 元裕 殿



提出者 [Redacted]
住 所 埼玉県新座市馬場2-6-2
氏 名 栃南建材 株式会社
代表取締役 青木 康至
電話番号 048-478-6970

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	栃南建材株式会社 新座工場
事業場の所在地	埼玉県新座市馬場2-6-2
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	10億円
③ 従業員数	22名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(添付資料Ⅲ)のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
区分	担当者	管理区分	
産業廃棄物処理責任者	工場長	総括管理及び産業廃棄物管理表の管理	
産業廃棄物処理施設技術管理者	社長	処理施設の技術管理	
産業廃棄物保管場所管理者	工場長	コンクリートの破砕及び一時保管場所の管理	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排 出 量	14,464 t	t
	(これまでに実施した取組) ① 現場との連絡を密にし、発生抑制を考慮した出荷計画を立てる ② GPS動態管理を有効利用し、出荷計画を立てる ③ 現場立会者との連絡を密にとる		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排 出 量	10,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ① 過去の打設データなどを利用した出荷計画を立てる ② 圧送業者との連携を行い出荷計画を立てる ③ 現場の打設計画に参加して無駄が出ないように推奨する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 当工場の廃棄物は、三種類		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当しないので、特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当しないので、特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当しないので、特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	390 t	t
	(これまでに実施した取組) 効率よく処理ができるように設備の整備・点検をまめに行う		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 効率の良い処理機の稼働計画をたてる		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当しないので特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当しないので特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	14,104 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 不要物等の発生量を減らすように心掛ける		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	9500 10,000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度に引き続き不要物等の発生量を減らすように心掛ける		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(参考様式) <規則第8条の4の5第1号関係>

産業廃棄物

事業の概要

資 本 金	5,000 万円 (2023 年 3 月末現在)				
従 業 員 数	22 人 (2023 年 3 月末現在)				
製造出荷額等又は 元請完成工事高	10 億万円 (2022 年度)				
製造概要、製造等フローシート (建設業においては、排出概要、排出等フローシート)	工場配置図 (建設業においては、現場配置図)				
別紙 (添付資料Ⅳ) のとおり 排出する産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず	現場の住所 (地番) 等: [REDACTED] 別紙 (添付資料Ⅴ) のとおり				
建設工事請負実績 (件数、金額) ※1	(件 万円)				
事業展望	廃棄物発生フロー				
近年、生コンクリート製造業は、公共事業の減少に伴い年々、出荷の落ち込みがあるが、若干の動きが見えてきている。今後、生コンクリート業界は、生き残りがますます厳しいであろう。	別紙 (添付資料Ⅲ) のとおり				
担当者	所属	職名	氏名	電話	048-478-6970

※1 については、建設業以外の業種は記載の必要はない。

(参考様式) <規則第8条の4の5第2号イ〜へ関係>

産業廃棄物

イ 計画期間	2023 年 4 月 ~ 2024 年 3 月	
ロ 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
廃棄物処理に関する管理組織図 別紙(添付資料Ⅱ)のとおり	産業廃棄物 処理責任者氏 名	██████████
	廃棄物処理施 設 技術管理者氏	██████████
ハ 産業廃棄物の排出抑制に関する事項		
① 過去の打設データなどを利用した出荷計画を立てる ② 圧送業者との連携を行い出荷計画を立てる ③ 現場の打設計画に参加して無駄が出ないように推奨する		
ニ 産業廃棄物の分別に関する事項		
当工場の廃棄物は、三種類		
ホ 産業廃棄物の再生利用に関する事項		
再生利用なし		
ヘ 産業廃棄物の処理に関する事項 (産業廃棄物の分別及び再生利用に関する事項を除く)		
委託処理の契約体制を明確にする		

添付資料 I

1. 会社名

栃南建材株式会社

2. 従業員数

22名

3. 資本金

5000万円

4. 製造出荷額等

10億円/年

5. 製造等フローシート

図-1 (添付資料IV)

6. 工場配置図

図-2 (添付資料V)

7. 事業展望

近年、生コンクリート製造業は、公共事業の減少に伴い年々出荷の落ち込みがあるが、若干の動きが見えてきている。今後、生コンクリート業界は、生き残りがますます厳しいであろう。

8. 廃棄物発生フロー図

図-3 (添付資料III)

9. 連絡先

栃南建材株式会社 新座工場

代表取締役 青木 康至

電話



添付資料Ⅱ

イ 計画期間

2023年4月1日～2024年3月31日まで

ロ 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

区 分	担当者	管理区分
産業廃棄物処理責任者	工場長	総括管理及び産業廃棄物管理表の管理
産業廃棄物処理施設技術管理者	社 長	処理施設の技術管理
産業廃棄物保管場所管理者	工場長	コンクリートの破砕及び一時保管場所の管理

ハ 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

- ① 現場との連絡を密にし、発生抑制を考慮した出荷計画を立てる。
- ② GPS 動態管理を有効利用し、出荷計画を立てる。
- ③ 現場立合者との連絡を密にとる。

ニ 産業廃棄物の排出の分別に関する事項

当工場の廃棄物は、三種類。

ホ 産業廃棄物の再生利用に関する事項

再生利用なし。

ヘ 産業廃棄物の処理に関する事項

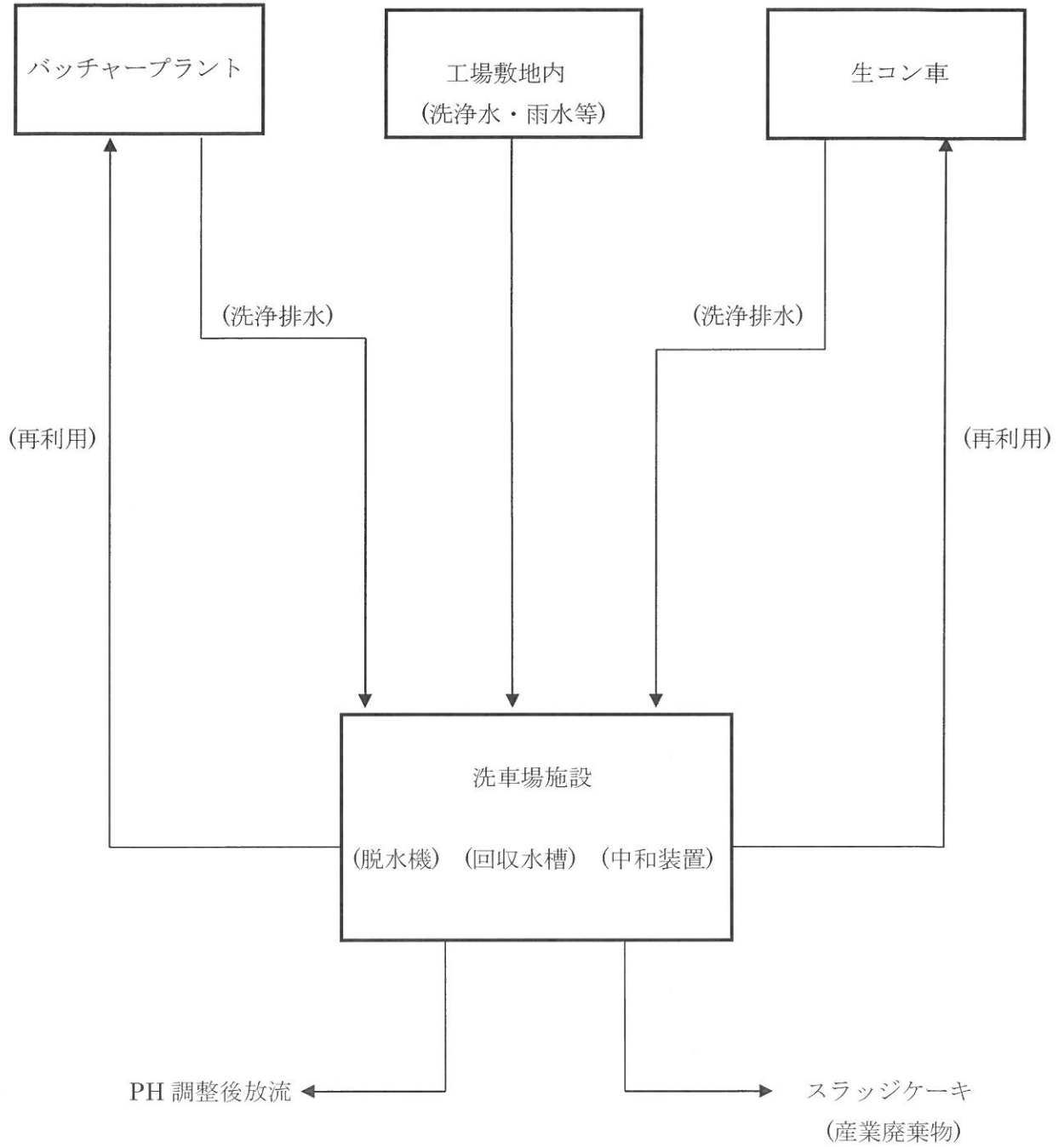
委託処理の契約体制を明確にする。

契約先

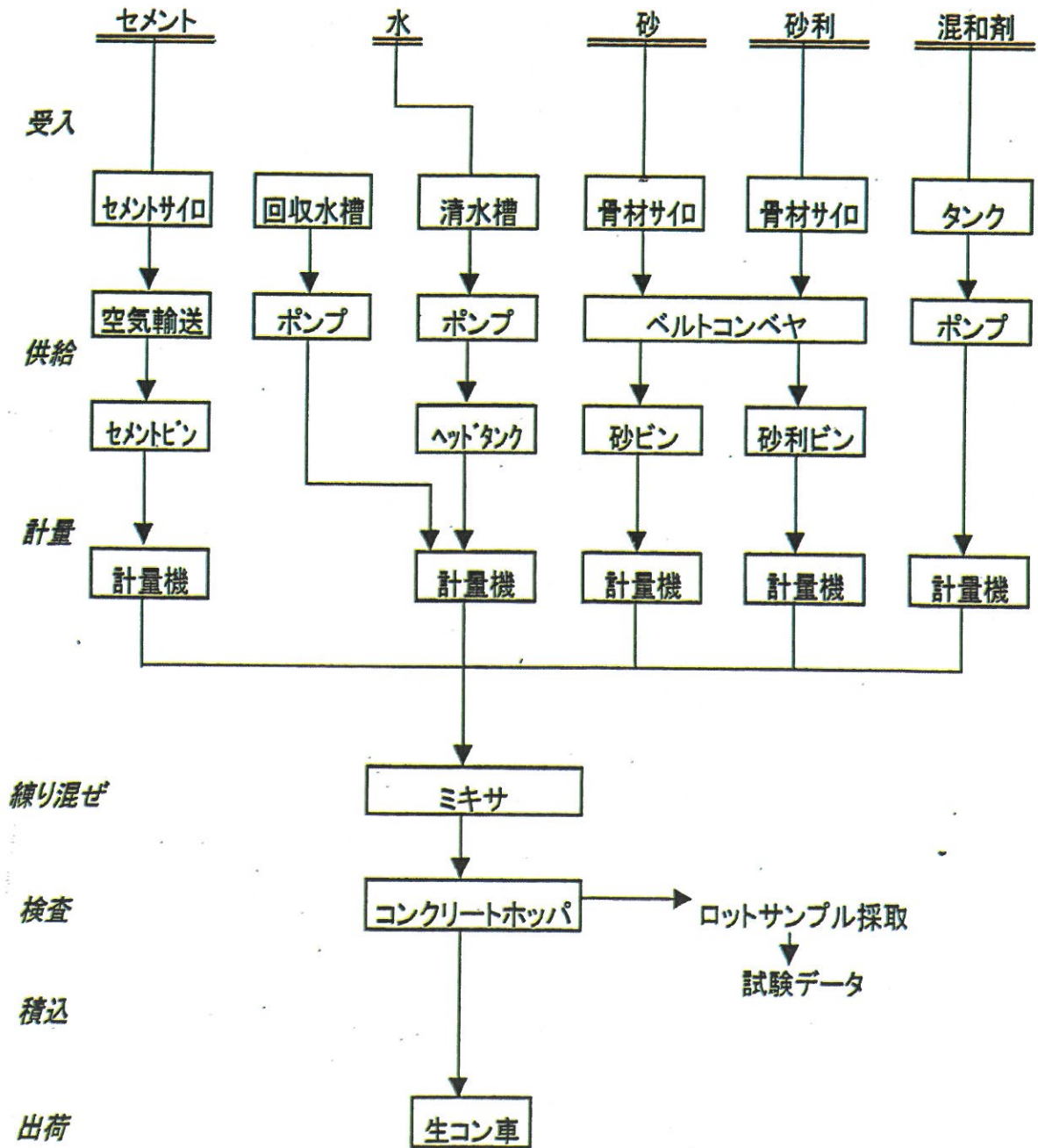
(処分) (株)藤坂 中間処理 ・ アワノ総合開発(株) 中間処理 ・ (株)上武 中間処理

(収集運搬) (株)祥和ロジスティクス ・ (株)松本土木 ・ あさひ興産(株) ・ (株)星野建材 ・ (株)assis

添付資料Ⅲ



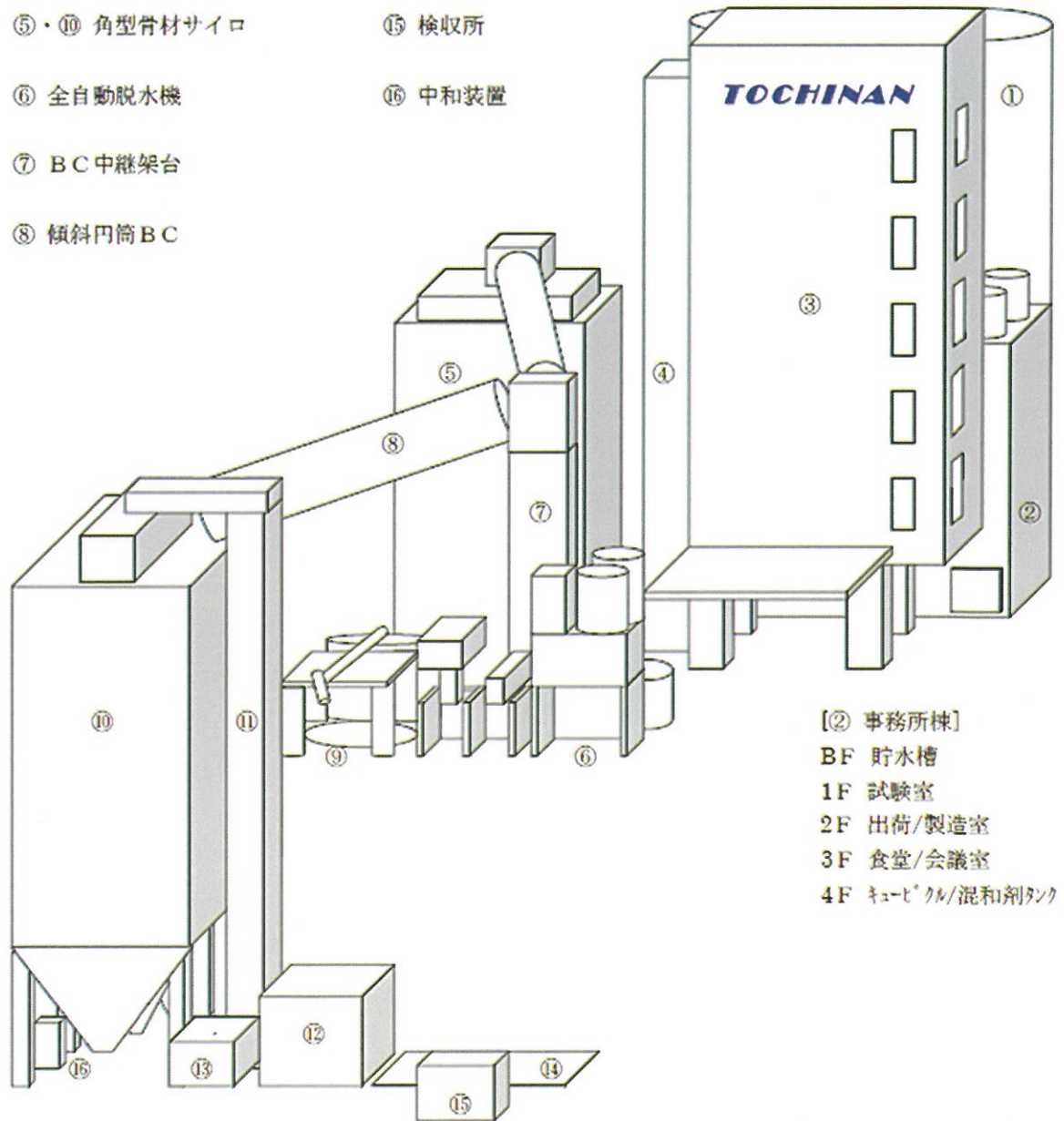
廃棄物発生フロー図 (図-3)



製造等フローシート (図-1)

添付資料V

- | | |
|----------------|-------------|
| ① セメントサイロ | ⑨ 洗車場 (貯水槽) |
| ② 事務所棟 (地下貯水槽) | ⑫ 受入グランドホッパ |
| ③ バッチャープラント | ⑬ 化粧室 |
| ④・⑪ 垂直フルックスBC | ⑭ トラックスケール |
| ⑤・⑩ 角型骨材サイロ | ⑮ 検取所 |
| ⑥ 全自動脱水機 | ⑯ 中和装置 |
| ⑦ BC中継架台 | |
| ⑧ 傾斜円筒BC | |



工場配置図 (図-2)